

旅客の危険を検出するホーム監視の実証実験を開始

2022年1月6日

日本信号株式会社

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）は、画像解析技術を用いたホーム監視システムの実証実験を関東鉄道常総線取手駅にて開始いたしました。^{※1}

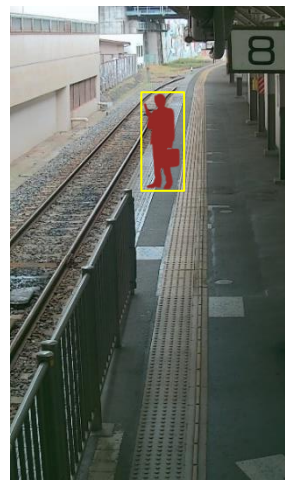
昨今、鉄道事業者様は旅客転落等による列車緊急停止手配や救急救命の迅速対応が課題となっています。また、ホームドアの未整備の駅では依然としてホームからの転落事故の危険性が潜在化しており、安全対策など、駅係員への業務負荷も高い状態にあります。

当社ではそのような課題を解決するため、駅既設の監視カメラに画像処理装置を付加することでホーム上の危険検出を行う「画像解析ホーム監視システム」の開発を進めております。本システムは、駅係員に代わり駅構内を画像解析し、旅客の行動を把握することが可能です。旅客のホーム端歩行や転落など危険な状態を駅係員に通知することで、事故の未然防止と事故発生時の初期対応を支援します。

本実証実験は2023年3月31日まで実施いたします。今後は、実証実験で得られたデータを基に開発を推進し、より一層安全で安心な鉄道の利用に貢献してまいります。



【画像解析用カメラ】



【検出イメージ】

※1 本開発の一部は、国土交通省の鉄道技術開発費補助金を受けて実施いたしました。

問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp